

Handsome

発行人 鳥取県西部中小企業青年中央会 会長 阿部 信行 編集責任者 足立 聡 印刷所 東京印刷株式会社



新OB会会長 ごあいさつ

西部青年中央会OB会

会長 手島 敏弘

此の度、何の間違いか西部青年中央会のOB会々長という大役を仰せつかってしまった。これは当会のルールと云うか掟と云うか、又伝統というべきか何事も指名主義でなかなかノ一とは云えなくなっているのが致しかたなく、私にとって災難というか巡り合せが悪かったのが、とにもかくにも伝統に従ってお引受けした次第ですので、どうか宜敷くご協力いただきます様お願い致します。そこで、間違いでなったいきさつを少々ご紹介致しておきたいと思ひます。それは確か6月の初め頃だったと思う。前会長の松田一三氏と何かの会でヒョッコリ出逢い、いろいろと雑談致しました。其のなかで次期OB会会長の話らしきものがあって、お前がやって呉れとは云わなかったが、何かを頼まれた様な気がするがそのへんははっきりと記憶にない、年をとったせいかもしれない、其の後すっかり忘れかけていたところ突然、松田氏より電話を頂いた「ずい分あつくなつたなあ」と氣候の挨拶からはじまり「テーさんのむよ」迄約3分4分程、一応断つた様な気もするがこれまたはっきり記憶にない。最終的にはOKさせられた様で自分の軽率さを恥じるとともに、サル反省ならぬ手島君大反省をした次第。それにしても感心したのは松田先生、伊達や粹狂で県会議員を3期もつとめていなかった。あの特徴のある凛々しくも女性ごのみの顔だちや髪型等々、全体的にまったく昔しと変らぬ青年？だが、頭の中味と口先だけは老獪そのもの、自分がいくらガンバッても3分間でKOされても仕方がないか。

扱て、少しはまじめに書こう。今回の件については日頃敬愛する松田さんの要請であり、この様な小さな事（自分にとっては決して小さな事ではないが）でいちいち文句を云うことはない、気持よく引き受け協力してあげる事が友情というものだ、然し自分が会長としての器なり能力があつて引受けた

訳ではなく、当会の伝統的ルールに従った迄であり、そのへんは会員諸氏が充分ご承知の事でもあり気は楽だ、但し云う事だけは遠慮なく云わしてもらふ事にする。松田一三氏には、これからは議員としてやってもらわなければならない事がいくらでもある。我等境港の代表石黒先生ともどもガンバッテ欲しいものだ。本当に永い間OB会々長ご苦労さまでした。扱て、前掟が大変なぐなつた様ですが、早速嫌なことをいわたしてもらいましょう。

8月12日（土）は、お盆前の土曜日で会員の皆様には大変忙しく、お出掛けにくい事は百も承知でご案内を差しあげ、まことに申し訳なく本誌をお借りしお詫びを申し上げます。元来OB会とは、非常に気楽なところで特別出席をやかましく要請するものでもなく、勝手気ままに集まってすきな様にやっていたらそれで良いのです。然し、節度、ケジメだけは大切にしているはずだ、此れは世の中の常だ。現役を卒業され当会に入会された方でも個人差はあるにせよ、卒業と同時にホット一息解放された様な気持になり、余りOB会には顔を出さない様ですが2年～3年経過すると、昔の仲間がなつかしくなりポツポツ出かけて来る様になります、これがOB会です。但し、当OB会事務局より招集があるのは年3回～5回程度ですからそれ程多い事はない。ただ今回私が云いたいの、過日ご案内した新OB会員の方々の歓迎会であります。余り多くは申し上げたくないが折角の先輩諸氏の仲間意識の好意を本気で受け止めていたのかどうなのか正直云って私自身も驚いた。アルコールがまわって来るといろんな意見が出て来た。あるOB会員はそんなに腹を立てなくてもだいたいこんなもんじゃなくかい、歓迎会止めてしまえばと云っていた。同感だこれからは考えなおそうか、いややっぱりもつと云つてニクマレよう、そして長生きしよう。

鳥取県西部青年中央会OB会報告

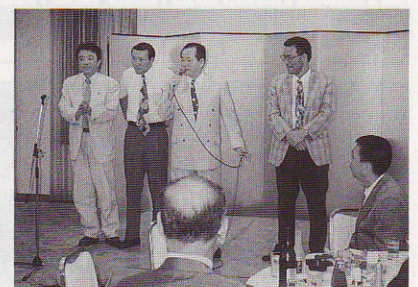
（新OBを迎える会）

西部青年中央会OB会が平成7年8月12日（土）に米子国際ホテルにおいて行われた。OB諸氏は多忙の折りにもかかわらず第20期卒業生4名を加えた40名が出席して開催された。OB会は午後6時30分に開会し、手島新会長の挨拶に続き松田前会長の音頭で乾杯が行われた後、第20期卒業の新OB会員4名が承認さ



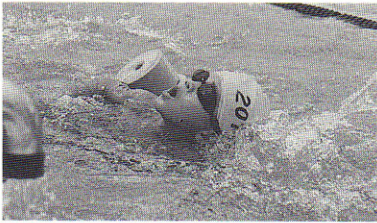
れた。続いて、手島会長の指名により副会長は浅野幸則氏と決定した。懇親会は、手島会長が冒頭の挨拶で気楽な付き合いをする会にしたいと言われたとおりに終始、冗談の飛び交うなごやかな雰囲気であった。閉会は新OB会員の日熊氏の発声で万歳三唱をして散会となり、OB諸氏は二次会に夜の朝日町へ向かわれた。尚、取材にあたりOB諸氏に大変お世話になりましたことを紙面を借りお礼申し上げ報告とします。

広報/浜義徳



力走・力泳

第1回 オールジャパン・ジュニアトライアスロン in 岸本



猛暑の中、大山を望む岸本総合運動公園にて『第1回オールジャパン・ジュニアトライアスロン IN 岸本』が8月20日に

13府県153名の参加で開催された。この大会は、平成6年度地域交流委員会が企画し、岸本町と協力し、役員は皆生トライアスロンの青年中央会ベテランスタッフが中心に総勢211名のスタッフで構成され実施された。



大会前に連日に渡って詳細な打合せがされたものの、第1回大会という事もあって、大会中に多くのトラブルが心配されたが、終わってみれば全てが予定通りの運びとなり、景幹雄競技委員長（政治行政）も120点の得点をつけるほどの成果となった。

小学生が競技をするということで、選手へのスタッフの手助けが多くの中で必要と予想されたが、選手のレベルは予想以上に高く、和田健二審判部長（地域ビジョン）も「将来有望な子供たちがいっぱいいますね」と満足そうに語られ



た。

競技の方は小学1、2年・3、4年・5、6年・リレーの4部門に構成され、定刻の午前8時に第一グループのスイムのスタートで始まり、父兄の応援と伴走の中、一生懸命力走・力泳するチビッコ選手の姿には心打たれるものを感じた。青年中央会の中からも10人の会員のご子息13名の参加があり、全員が完走し、午後0時37分に最後のランナーがゴールに入ると本部テントから大きな歓声と拍手がおこり競技は終了した。



競技終了後は、選手・父兄・役員が一緒となつての食事会や子供達のゲームなど数多くイベントが用意され、競技を終えた選手達は、トライアスリートから普通の子供に戻ってイベント会場は大盛況であった。

この大会は来年度から完全に岸本町が引き継ぎ行方となっているが「ボランティアの要請があれば快く協力をお願い致します」と競技委員長は締め括った。（広報/畑中）



「中小企業野球大会」へ向けOBとの交流試合が行われた！

8月6日（日）PM7:00より西伯カントリーパークにてOB vs 現役の交流野球が行われた。来る8月26、27日に行われる予定の「鳥取県中小企業野球大会」の選考会も兼ねてるとあって阿部会長の先発のもとでプレイボールのこの試合、一進一退でかなり盛り上がった。結果は引き分け。

（スコア）

		1	2	3	4	5	6		計
O	B	2	0	4	0	0	1		7
現	役	1	1	3	1	1	0		7

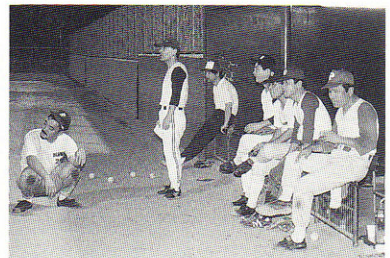
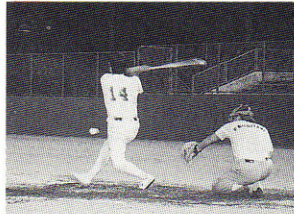


一昨年の西部地区予選準決勝では、8点差を跳ね返し代表決定戦まで駒を進めたものの西部地区代表の壁は厚く惜しくも敗退。これをバネに今年こそその意気込みには並ならぬ物が有る様だ。

〔二次会〕

二次会は場所を大連に移して執り行われ、試合に負けず劣らず盛り上がった。いろいろと話の飛び出す中で、これからのOBとの年一度の交流試合をやらうと言うことで意見がまとまった。

（広報/夏山）



8 月 度 委 員 会 報 告

政治・行政委員会

平成7年8月9日(水) 於:米子食品会館
出席者/17名
内 容/8・9・10月の委員会は11月担当例会についての話し合い。
H8 1~6月間約5ヶ月間講師先生を呼んで勉強会をすることに決定。また、色々と政治・行政に関して活発な意見が出て有意義な委員会になりました。

社会・文化委員会

平成7年8月9日(水) 於:米子食品会館
出席者/10名
講 師/米子市東山中学校校長 国田俊雄氏
演 題/近頃の子供のものの考え方と問題行動
子供の意識から始まり、子供の問題行動(万引き、喫煙、登校拒否、いじめ等)やその原因、傾向を話して頂きました。
ほとんどの会員が同年代の子供を持つ為大変興味を持って聞き、又これから子供への接し方への参考になりました。

地域ビジョン委員会

平成7年8月7日(月) 於:米子食品会館
出席者/16名
内 容/会員NOWと言うタイトルで、委員会メンバーの仕事の様子、生活する地域の様子、そして合併問題に対する考え方等を互いに発表しあいました。

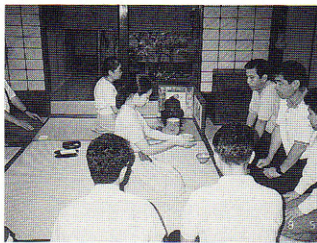
経済委員会

平成7年8月4日(金) 於:米子食品会館
出席者/12名
講 師/岡山経済新聞社社長 野口荘太郎氏
演 題/「鳥取県西部地区の経済状況」
上記のテーマを中心に、野口氏の講演を頂き、その後ディスカッション形式にて質疑応答を会員各々が積極的に行った。
中でも、今まであまり好景気、不景気に影響されにくかったこの鳥取県においても、着実に都会のデフレ現象の波及効果を受け、今年4月よりかなり景気が後退しているという事を実感した。そしてさらに悪い事には、なかなか景気回復の好材料が見当たらない事、追い打ちをかける如く、境港での魚の不漁等まだまだ先行きが不透明のようである。現在騒がれている、ダイエー、ジャスコ等の大型店舗進出も見逃す事は出来ず、その販売手段も、メガマート、ハイパーマート、パワーセンター等、様々な経営形態が審議なされている様である。
いずれにしても地元小売業界だけでなく、その他の業界各社においても、低価格、高品質、高サービスを今まで以上に実践、展開して行かなければならないと感じた。

経営投資委員会

平成7年8月5日(土) 於:大山町門脇家
出席者/11名
講 師/門脇早苗様
演 題/「経営者としての文化的素養を磨く」—不味流茶の湯の心と作法—
当委員長の自宅は「国指定文化財」の指定を受けている当地の貴重な文化遺産である。この文化財の前で226年前の大庄屋の生活や役割について説明を受けた。
とりわけ印象的だったのは、厚さが1メートル以上もある茅葺き屋根である。二百年延々と続いてきた生活の息吹を深く感じさせるものだった。

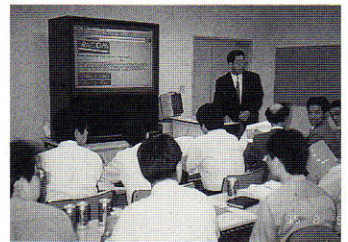
不味流の歴史と茶の湯の心、一期一会という人と人との触れ合いのありようについて講話を聞いた。つづいて、真夏の夜の茶会に入った。立派な掛け軸(今その作品については不覚)についての講釈に始まり、先生のお手前。童子は可愛い中学生のお孫さんが勤められた。一同



慣れない正座で、しばらくは神妙に先生の手さばきを見つめている。お湯が茶釜からそそがれ、茶筌がコッソ、コッソと茶碗に落ちる。心地よい音だ。
会員は皆、茶会は初めてである。どの様な作法で戴いたらいいのか。不安な手付きと「お先に」の言葉がごちない。
それでも、はじめての体験はまんざらでもないようだった。この度の試みは会員が日頃あらためて聞くことの出来なかったこと、或いは体験できなかったことであり、充実した委員会であった。

情報メディア委員会

平成7年8月9日(水) 於:日本海ビジネス専門学校
出席者/14名
講 師/(株)島根ワコム 多久和氏
演 題/インターネットについて
実演に先立ってインターネットについての講演があり、パソコン通信とインターネットの大きな違いはパソコン通信はホストコンピュータの目的の中でしか活動できない。即ち管理されている中でしかやり取りが出来ないがインターネットの管理者は自分自身になるので可能性は無限に広がる。
又、インターネットは自分自身がサーバー(情報発信者)になる事が出来るので自分から全世界に向けて色々な情報(例えばオリジナル商品の広告など)の発信が可能である。既にビジネスとして活用している企業もある。
しかしこれは両刃の剣で現時点では全て管理するのは不可能なので悪用の方法も幾らでもある。
実際の実演に入ると画面はアイコン(絵文字)が沢山使われており、子供でも楽しみながら操作が出来そうな感じを受けた。
インターネットを立ち上げ、ブラウザと呼ばれるサーバーにアクセスすると(ブラウザはホワイトハウス、内閣総理大臣官邸、一般企業から気象情報まで多岐にわたって存在する。)そのブラウザの初期画面の中に色々な企業とかのアイコンがあり、例えばあるデパートのアイコンを選択すると扱っている商品がカタログとして画面に映し出される。もちろん、クレジットカードの番号を入力することによってその場で(自宅にいながらにして)購入可能。但し現時点では国内のインターネットは始まったばかりであり商品などの情報量は少ない。
とにかく操作は想像していた以上に簡単であり今後の普及は間違いないものと考えられる。そうなった場合バーチャルコーポレーション(仮想企業体)の出現は必至であり乗り遅れた場合には脅威になる可能性を含む。
最後に多久和氏より中央会におけるバーチャルシティスタートの提案があった。メリットとして
1.通信販売が出来る
2.企業紹介(宣伝)が出来る
3.世界中(日本中)から求人が出来る
4.DMのように3%の効果のために97%を無駄にすることが無い
5.新しい情報をリアルタイムで更新できる



広報委員会

平成7年8月7日(月) 於:米子スズキ販売(株)会議室
出席者/13名
内 容/8月例会(担当例会)の打合せ
9月号ハンサムの編集及び担当打合せ
以上を約1時間で終らせ、二次会のホテルわこうに席を移して納涼委員会となり、時間の許す限りビールを飲み暑さをフットバシタ。

総務委員会

平成7年8月22日(火) 於:米子食品会館プラザホール1F
出席者/14名
内 容/①新入会員審査承認について
②第4回OB交流会開催について
日時/平成7年10月14日(土曜日)18:30~20:30
場所/東亜青果(雨天決行)
③ミニイベント・レクリエーションの検討
委員会対抗のスポーツ交流を…
④トライアスロンの反省及び今後の取組について

□ 8 月例会報告

今年度最初の8月例会は、盆明けの8月17日(木)、ホテルわこうに於いて広報委員会の担当で開催された。今回から開始時刻を20分遅くして出席率の向上を図っている。講師には着任してまもないJR西日本米子支店長の兵東勇氏を招き、『JR西日本の行動力』というテーマでご講演頂いた。OHPを使用してJR西日本の経営状況、JR西日本の取組み、阪神大震災の教訓、米子支社の取組みなどについて分かりやすく説明された。JR西日本は首都圏を持つJR東日本、新幹線を持つJR東海に比べ利益を上げにくい状況の中で、新会社発足時から7年間で輸送シェアで20%アップしたとのことであり、阪神、阪急などの従来からの民間企業よりも合理化、効率化が進んでいる様子うかがえる。この発展の土台となったのは経営理念の確立とハート&アクションと題された具体的な行動方針にあるようで、会の終わりに足立聡担当副会長の謝辞でも述べられたように我々中小企業の経営の参考になる内容であった。業務の見直しにより必要以上の清掃業務の削減、運転手を保線も行うというような人員の効率的な運用、無人駅を公民館と一体化して自治体の管理に置く、等もその一例である。

る。また阪神大震災に対する復旧工事あるいは輸送対策の話の聞いたりすると、何かと批判的になっていた国鉄時代とは異なり、スピーディーでしたたかな民間企業の姿が浮かびあがってくる。米子支社の取組みとしては米子駅で分断されるダイヤの改正、好評を得ている智頭鉄道のスーパーはくとのより一層の利用率向上のための検討、あるいはコスト削減等が挙げられるが、品のよい50歳の米子支社長の中にはJR西日本発展のエネルギーが秘められているようである。



聞いてごしない Part 9

「同窓会」

暑かった夏もようやく終りになり、暑いのが苦手な私としてはやっと一息ついているところです。

夏といえば同窓会があちこちであり、夜の角盤町通りや朝日町はそれらしい群れで賑わっていた。我中央会のAさんも2ヵ月前から「卒業して始めて中学の同窓会があるんで楽しみでねえ。」何が楽しみで期待しているのかすぐに察したMさんと私は、「いってみない。ゾンビの群れに突撃状態だ。」「好きだった娘ほど落差が大きい。」「ドラマみたいにはならんだけん。」出席した経験者として言いました。

しかし家庭でこんな事を言ったら何をされるかわからないので、懐かしかったとか皆変わらなかったとか言わなければならぬ。

「そうかなあ、それでも中にはいいのもおらへん。」「おらん、おらん!」「30年後も変わらんはずがない!」Aさんは納得できない顔をしていたが、その後同窓会に出てどうなったかまだ聞いていない。

じつは私もそう言いながら同窓会の準備をしていて、期待していた。

いよいよ当日顔ぶれを見ると、いました、いました。変わらぬところあひるから白鳥に変身しているのが。

「あれ誰?」「〇〇だと思っ。」「ええっ!」絶句。しかし、やはり歳月どおりの法則と遺伝的要素が重複しているカラスもいた。また絶句。白鳥には野郎どもが群がり、カラスにつかまった運の悪い奴は腰が引けている。

私もカラスを巧みに避け白鳥に行こうとするが、昔存在感のなかった奴が粘り腰を発揮して離れない。後がつかえてるんだぞ、この野郎。

ついに深く話をする事なく終わってしまった。

「くそっ、正月は高校の同窓会に行こつと。」

充実した夏だった。

(文・酔狂人)

9 月 例 会 案 内

日 時	9月18日(月) 18:30~
場 所	米子国際ホテル
講 師	ドイチェ・バンク(ドイツ銀行) 東京支店トレジャラー ウルリッヒ・フォルマー氏
演 題	「ドイツと日本の経済文化」 — 金融・企業・時短 そしてマイスター制度 —
担 当	経営投資委員会

※出席の有無を9月13日までに返信ハガキにてご回示下さい。

9 月 役 員 会 報 告

9月定例役員会が9月1日(金)、米子食品会館に於いて開催された。当日の主な議題は、次の通り。

- (1) 9、10月例会開催の件
- (2) OB交流会開催の件
- (3) 新入会員承認の件
- (4) その他

※尚、詳細については各委員長までご照会下さい。



編 集 後 記

トライアスロンで明け・トライアスロンで暮れた夏でした。関係会員の皆様方本当にご苦勞様でした。Jrトライアスロンでは役員・コーチ・父兄と一人三役をこなされた熱血会員のおとうさんに敬意を表します・・・お疲れさまでした。